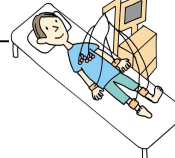
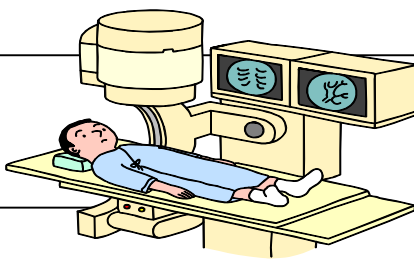


ID: 患者氏名: 様

経過	入院日(心臓カテーテル前日)	心臓カテーテル当日(検査前)	心臓カテーテル当日(検査後)	3日目(退院日)
日付	月 日 ()	月 日 ()		
目標	検査の内容が理解でき、検査を受けることができる。			退院指導の内容がわかる。
説明 指導 教育	・医師より検査の説明を行います。 ・看護師が入院生活および検査の説明を行います。 (説明後、承諾書を記入し、提出して下さい) (医師・看護師の説明でわからないこと、心配なことがあれば何でもお話し下さい) ・御希望により、栄養指導・服薬指導が受けられます。 	・検査中ご家族の方は東6B病棟でお待ちください。 	・医師から検査結果について説明があります。 ・検査した手首は、強く曲げたり、力を入れたり、こすったりしないで下さい。 ・患者さんが落ち着かれましたら、ご家族の方へ帰宅可能となります。 	・退院指導を行います。 ・医師から検査の経過と今後の内服などについて説明があります。 (検査直後に行うこともあります) ・退院後の生活で、不安な点があれば遠慮なくお聞きます。
治療 処置	・身長・体重を測ります。 ・体温・脈拍・血圧を測ります。 ・足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。 ・手首の動脈(正中・橈骨)の拍動を観察し印をつけます。 ・検査に必要な部位(橈骨または大腿)の体毛を必要時剃ります。 	・検査の前に排尿し、検査着に着替えます。 ・1時間前に手首の表面を麻酔するためのテープを貼ります。 ・検査前に点滴を行うことがあります。	・点滴を継続します。 ・検査後1時間ごとに圧迫の空気を2mlずつ4回抜きます。 ・4回目の空気を抜いた1時間後に手首に巻いてあるバンドを外します。 ・点滴が終了後、留置針を抜去します。	・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。
検査	・採血・胸部X線撮影・心電図の検査を行います。 ・心肺運動負荷試験または運動負荷試験、心臓超音波検査四肢血圧脈波検査を行うこともあります。			
生活 行動		・車椅子で1階のカテーテル検査室へ行きます。 	・検査後はベッド上で安静にして下さい。 ・1時間後には、トイレまで歩くことができます。(足の付け根から行った場合は、6時間後になります) ・手首のバンドを外したら、自由に歩くことができます。	
清潔	・毛を剃った後、入浴またはシャワー浴ができます。			・傷の状態に異常がなければ入浴できます。
食事	・治療食となります。(カロリー・塩分制限) ・水分に制限はありません。 	・午前検査は朝食が出ません。 ・午後検査は昼食が出ません。	・検査後、吐き気がなければ飲水・食事をすることができます。 	
内服薬	・今まで飲んでいた薬を変更することがあります。			・退院時内服処方が出ます。
観察			・カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。 ・止血用のバンドがきつすぎないか確認します。 ・帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・橈骨動脈の拍動の観察を行います。 ・検査終了後、造影剤を早く排泄するために、水分(お茶・水)を多めにとりましょう。	
その他	・検査の状況により、足の付け根の動脈からの検査になる可能性もあります。			
備考	・特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無			

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。